

## 2月3日（月） 全校朝会 校長先生のお話です

### ～ウインタースクールを 大きな目標として～

おはようございます。お話をします。

昨日は、東京でも雪が降った地域があり、とても寒かったですね。東京は雪に対応しにくい地域です。雪が積もらなかっただけでも良かったと思います。今週は数年ぶりの寒波と言って、寒い日が続きます。ここからもう一度、感染防止の対応に気を付けて、体調を崩さないようにしましょう。

先週は5年生のウインタースクールがありました。今年は雪が多いと言われていました。毎年清新一小が行く国立妙高青少年自然の家は、雪国の中でも雪が多く降る豪雪地帯と言われる地域なので毎年雪の心配をしなくてもいいのですが、それにしても、予想を上回る雪の量でした。ウインタースクールに行く目的は、雪国の生活を体験し、その自然の美しさや厳しさを味わい、雪遊びやスキーを楽しむことと、共同生活を通して協力することの大切さや仲間への思いやりと友情の気持ちを持つことです。中でも、共同生活を通しての経験で、協力することの大切さを学ぶことが最も大事になります。今回のウインタースクールは協力する大切さについて、3日間みんなで過ごすことで、今まで経験したことないものを得られたと思います。事前に準備していることをやろうとする姿勢、失敗しても素直に反省し、次に生かそうという姿勢、5年生のそうした前向きさが伝わってきて、充実した意味のある宿泊行事でした。毎年5年生のこの時期に宿泊行事を経験し、少しずつ最高学年として育っていきます。今の6年生もそうでした。今の1年生～4年生も、5年生になった時からこのウインタースクールを一つの目標として、学校生活を送ってほしいと思います。来週から感染症が収まってきているので、体育館での全校朝会を再開します。久しぶりですがしっかりできるようにみんなで協力しましょう。お話を終わります。